

観光目的税を活用した取組について

取組と充当希望規模※1

税込規模総額：50億円程度

※県実施分と市町村実施分は、役割分担を行った後、配分割合等を決定する予定

※2 H30年度
予算計上額
(百万円)

1 多言語対応・人材育成	7億円	<取組例> ○観光案内所・観光案内板（多言語）の設置 ○観光案内人（多言語）の育成・確保 等	490
2 観光施設等維持・整備	10億円	<取組例> ○観光施設改修（リノベーション） ○公的観光施設等の維持管理 ○Wi-Fi・キャッシュレス環境整備 等	802
3 観光コンテンツの充実	6億円	<取組例> ○ナイトコンテンツの開発 ○体験型コンテンツの開発 等	171
4 二次交通対策	5億円	<取組例> ○公共交通機関利便性向上 ○公共交通利用促進 等	158
5 オーバーツーリズム・ 観光危機対策	5億円	<取組例> ○小規模施設等整備 ○観光危機等対策 等	23
6 観光資源の保全	7億円	<取組例> ○自然環境・生物多様性の保全 ○保全利用協定支援 ○世界自然遺産への対応 ○観光地・海岸等の美化支援 等	5
7 制度の適正運用	2億円	<取組例> ○観光客満足度・県民意識調査分析 ○違法民泊対策 ○制度の検証機関の運営 等	61
8 その他	8億円	<取組例> ○（外国人向け）観光マナー周知 ○広域DMO支援 等	138
観光振興を目的とした法定外目的税の導入目的	沖縄が世界に誇れる観光リゾート地として発展していくことを目指すとともに、 県民生活と調和した持続的な観光振興を図る施策に要する経費に充てる		計 1,848

※1 金額は、税込規模や今後の観光情勢の変化により変動する見込み。

※2 H30予算計上額は、観光政策課、観光振興課、MICE推進課が実施する事業費のみの積み上げ。

観光目的税を活用した取組について

■ 使途事業の柱と取組例について

	受入体制の充実・強化	利便性・満足度の向上	県民理解の促進	持続可能な観光地づくり
1 多言語対応・人材育成	○観光案内所・観光案内板（多言語）の設置 ○観光案内人（多言語）の育成・確保 等			
2 観光施設等維持・整備	○観光施設改修(リノベーション) ○公的観光施設等の維持管理 ○Wi-Fi・キャッシュレス環境整備 等			
3 観光コンテンツの充実	○ナイトコンテンツの開発 ○体験型コンテンツの開発 等			
4 二次交通対策		○公共交通機関利便性向上 ○公共交通利用促進 等		
5 オーバーツーリズム・観光危機対策			○小規模施設等整備 ○観光危機等対策 等	
6 観光資源の保全			○自然環境・生物多様性の保全 ○保全利用協定支援 ○世界自然遺産への対応 ○観光地・海岸等の美化支援 等	
7 制度の適正運用			○観光客満足度・県民意識調査分析 ○違法民泊対策 ○制度検証委員会運営 等	
8 その他				○(外国人向け)観光マナー周知 ○広域DMO支援 等